

オペラ彩第42回定期公演



パウル・クレー (1879-1940) 赤のフーガ、1921年 (作品番号69) 紙に鉛筆、水彩、24.4 x 31.5 cm 個人蔵 (スイス)

オペレッタ

メリー・ウイドウ

Die lustige Witwe

全三幕 原語上演・字幕付き (日本語台詞)

ウィнна・オペレッタの傑作

指揮 上野 正博
演出 直井 研二
総合プロデューサー 和田タカ子

愛 別れ そしていや増す想い 恋と華やぎが響き合い、心躍らせる
ウィнна・オペレッタ不朽の名作！プロオーケストラの演奏と共にお楽しみください。
作曲：フランツ・レハール 原作：アンリ・メイヤック 台本：ヴィクトル・レオン レオ・シュタイン

2026年

1月31日(土)

2月 1日 (日)

和光市民文化センター 大ホール
サンアゼリア

TEL.048-468-7771

開演 14:00 開場 13:15

全席指定

S席 11,000円

A席 9,000円

B席 8,000円

C席 6,000円

学生席 3,500円

特別学生席 2,000円 (高校生まで)

1月31日(土) 2月1日(日)

ハンナ・グラヴァリ

東城 弥恵

鈴木 慶江

ミルコ・ツェータ

佐藤 泰弘

福井 克明

カミーユ・ロジヨン

大澤 一彰

金山 京介

サン・プリオシュ

落合 一成

星田 裕治

シルヴィア・ヌ

山口 遥輝

太宰 鶴恵

オルガ

浅野 じゅり

井上 ゆかり

ブラシゴヴィア

牧 優雅

泉 関 洋子

グリゼット

井上 ゆかり (1/31)

浅野 じゅり (2/1)

・ドド 土田 ななみ

・ジュジュ 吉田 未来

・マルゴ 矢吹 桃子 (両日)

ダニロ・ダニロヴィッチ

1月31日(土) 2月1日(日)

ヴァランシエンヌ

吉武 大地

秋谷 直之

カスカーダ

山崎 陶子

奥村 さゆり

ボグダノヴッチ

持木 悠

布施 雅也

クロモウ

矢田部 一弘

西條 秀都

プリチツチュ

石塚 幹信

石塚 幹信

ニエグシュ

藤原 啓

藤原 啓

鈴木 幸生 矢田部 一弘



主催：特定非営利活動法人オペラ彩
共催：公益財団法人和光市文化振興公社
助成：公益財団法人三菱UFJ信託芸術文化財団

チケット 好評発売中
特定非営利活動法人オペラ彩 048-201-3121
和光市民文化センター048-468-7771
イトーヨーカドー和光店2Fチケットコーナー

お問い合わせ 特定非営利活動法人オペラ彩事務局

Tel. Fax 048-201-3121

E-mail : opera-sai@jcom.home.ne.jp HP:https://opera-sai.jp

オペラ彩第42回定期公演

オペレッタ **メリー・ウィドウ**

Die lustige Witwe

作曲：フランツ・レハール 台本：ヴィクトル・レオン / レオ・シュタイン 台詞：直井 研二



指揮
上野 正博



演出
直井 研二

「オペラとオペレッタはどう違うのですか」との質問を受けることがあります。そのような折、一枚の絵画に出会いました。ルドンの「野の花の花瓶」、「メリー・ウィドウ」が初演された1905年とほぼ同時代に制作されたとされるパステル画です。大小さまざまな色とりどりの花が息つき、小花一輪が欠けても絵にならないと思わせる華やぎに、ふと、「これだ、これぞオペレッタだ!」と思いつきました。時代に翻弄され、今から見れば古風ともいえるハンナとダニロの愛、別れ、そしていや増す想い。東ヨーロッパの小国(架空)ポンテヴェドロで繰り広げられる二人を取り巻くさまざまな人間模様。軽快な音楽とともに、不朽の名作「メリー・ウィドウ」を是非お楽しみください。



総合プロデューサー
和田タカ子

キャスト	1月31日(土)		2月1日(日)	
ハンナ・グラヴァリ	ポンテヴェドロ老銀行家の未亡人	東城 弥恵	鈴木 慶江	
ダニロ・ダニロヴィッチ伯爵	ポンテヴェドロ国パリ大使館一等書記官	吉武 大地	秋谷 直之	
ミルコ・ツェータ男爵	ポンテヴェドロ国パリ駐在大使	佐藤 泰弘	福井 克明	
ヴァランシェンヌ	ツェータ男爵の妻	山崎 陶子	奥村さゆり	
カミーユ・ド・ロジョン	大使館随員	大澤 一彰	金山 京介	
カスカーダ子爵	パリの伊達男	持木 悠	布施 雅也	
ラウル・ド・サン・プリオシュ	パリの伊達男	落合 一成	星田 裕治	
ボグダノヴッチ	ポンテヴェドロ領事	矢田部一弘	西條 秀都	
シルヴィアーナ	ボグダノヴッチ領事の妻	山口 遥輝	太宰 鶴恵	
クロモウ	ポンテヴェドロ大使館参事官	石塚 幹信	石塚 幹信	
オルガ	クロモウ参事官の妻	浅野じゅり	井上ゆかり	
プリチッチュ	ポンテヴェドロの退役大佐	藤原 啓	藤原 啓	
プラシコヴィア	プリチッチュの妻	牧 優雅	泉関 洋子	
ニエグシュ	大使館書記官	鈴木 幸生	矢田部一弘	
グリゼット	・ロロ 井上ゆかり (1/31)	・浅野じゅり (2/1)		
	・ドド 土田ななみ	・ジュジュ 吉田 未来	・フルフル 渡辺 紗弓	
	・クロクロ 高橋萌々花	・マルゴ 矢吹 桃子 (両日)		
合唱	オペラ彩合唱団 東邦音学大学 / 東邦音楽大学附属東邦第二高等学校 放送大学埼玉学習センター合唱団 和光市内児童合唱団 各有志			
管弦楽	アンサンブル彩 コンサートマスター 永峰 高志			

主なスタッフ

- 美術 直井研二 加藤正信
- 照明 坂本義美 (龍前照明)
- 振付 鷲田実土里
- 舞台監督 (有) 加藤事務所
- 衣裳 (株) エフ・ジー・ジー
- 音響 岩下雅夫
- ヘアメイク 丸善かつら
- 字幕操作 (株) アルゴン社
- 合唱指揮 平野桂子
- 副指揮 金子快聖
- 児童合唱指導 谷 禮子
- 企画・制作 (特) オペラ彩



- 東武東上線 池袋→和光市 13分 (準急、急行)
- 東京メトロ副都心線 渋谷→和光市 25分(急行)
- 東京メトロ有楽町線 池袋→和光市 18分(各停)
和光市駅下車南口から約900m (徒歩約13分)
- 東武バス：和光市駅前南口発 (西大和団地経由)
和光市役所入口 (3つ目) 下車徒歩1分
- タクシー乗り場 和光市駅南口駅前隣接

和光市民文化センター(サンアゼリア)
〒351-0192 埼玉県和光市広沢1番5号 TEL.048-468-7771(代)

オペラ彩のあゆみ

1984年の設立以来42年間オペラ活動を継続して今日に至る。8年にわたるモーツァルト4大オペラの連続上演、プッチーニ・シリーズ、ヴェルディ・シリーズが好評を博す。2003年から和光市民文化センター大ホールを拠点にグローバルな活動を開始、国内の大きな賞を連続受賞して注目を集める。社会貢献事業として取り組むオペラ「泣いた赤鬼」の移動公演は1都7県で80回を超え、親子三代が一緒に楽しめるオペラとして人気を博している。オペラを分かりやすく読み解く「オペラ動進」は200回を超え、「本物のオペラに触れてみませんか」と題して行う「オペラの稽古場見学」には大勢の高校生が参加、その様子が3年連続NHK総合テレビで紹介されるなど、地域に根差した活動がオペラ彩の礎となっている。

- 第23回定期公演オペラ「トゥーランドット」 第5回佐川吉男音楽賞奨励賞受賞 2006年
- 受賞歴 第24回定期公演オペラ「ナブッコ」 第5回三菱UFJ信託音楽賞奨励賞受賞 2007年
- 第29回定期公演オペラ「マリア・ストゥアルダ」 第21回三菱UFJ信託音楽賞受賞 2012年

チケットお取扱い ●和光市民文化センター 048-468-7771
●イトーヨーカドー和光店2F チケットコーナー
●オペラ彩 048-201-3121 ●チケットぴあ Pコード 308-815